

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM43Z001	日本の古典文学を学ぶ (Classical Japanese Literature)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	前期	金1	浅野 則子 内線： E-mail : asano@mc.beppu-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

私達は何気なく言葉を使っている。けれども同時に言葉は文化の深い部分にも関わっている。古典文学作品を読み解くことは、作品を理解すると同時に文化を理解することでもある。

身近な古典文学である「百人一首」を丁寧に読み解くことで、時代と文化のあり方を理解すると同時に、時代を超えた日本の心を現在の時点から考える能力を身につける。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 「百人一首」という古典文学を読み解くことにより、日本の古典文学の世界が理解出来るようになる。					○	
2. 現代と古典文学の世界との関連を理解し、私達が継承していくべき文学のあり方について考えることができる。		○				
3. 日本の古典文学をとおして、日本の文化について意味を説明出来るようになる。					○	
4.						

【授業の内容】

1	百人一首について
2	百人一首とその時代：文学史的背景を理解する
3	百人一首の歴史：百人一首がどのように継承されてきたかを理解する
4	四季の歌 1：春に歌われる景物から季節観を理解する
5	四季の歌 2：夏に歌われる景物から季節観を理解する
6	四季の歌 3：秋に歌われる景物から季節観を理解する
7	四季の歌 4：冬に歌われる景物から季節観を理解する
8	恋の歌 1：恋のはじめの心情を理解する
9	恋の歌 2：相手への思いを伝える表現を理解する
10	恋の歌 3：恋歌における比喩の使い方を理解する
11	恋の歌 4：孤独をどのように歌うかを理解する
12	人生を考える歌 1：社会と自らの関係をどのように歌うかを理解する
13	人生を考える歌 2：自らの心情を表すために使われる比喩を理解する
14	人生を考える歌 3：自らがおかれている時代をどのように和歌では表現するのかを理解する
15	まとめ

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	毎回の授業で、振り返りや質問等のコメントを記入してもらう。
B：意見の表現・交換		
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料や参考文献等の情報が必要に応じて予習する。(10h)
事後学修	授業で学習したことを活かし、理解を深める。(10h)

【教科書】 プリント配布。

【参考書】 必要に応じて指示する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
テーマごとのレポート	40%	○	○		
期末テスト	60%	○		○	

【注意事項】 和歌について鑑賞ではなく、時代に即した理解を心がけて欲しい。**【備考】**

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態		